

調査報告書

2021年版 [トナーマーケット総覧]

『働き方の多様化で 変化が加速する トナー市場の最新動向』

=外販、提携、中古機市場など新たな動きが活発化する？=



新トナーのGS2 トナーを搭載した
キヤノン「iR-ADV DX C5800 シリーズ」



アフター市場ではブラザー用トナーが人気商品に



富士フイルムビジネスイノベーションの最新PP機「Revoria Press PC1120」は金・銀、ピンクなど様々な特色に対応

2021年6月



日・中・米・欧の市場調査
株式会社 データ・サプライ

〈調査概要〉

I. 調査テーマ

***2021年版 [トナーマーケット総覧] ***

『働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向』

＝外販、提携、中古機市場など新たな動きが活発化する？＝

II. 調査主旨

世界保健機関 (WHO) が新型コロナウイルスのパンデミック (世界的大流行) を宣言してからすでに1年を経過した。パンデミック宣言から数か月間は、世界各国で全面的あるいは部分的なロックダウンの措置が採られ、一般オフィスを主戦場としてきたMFP・プリンタ業界へのマイナス影響は凄まじいものとなったが、2020年後半からはMFPやプリンタの本体販売量、そのトナーボリュームも回復の兆しをみせている。

ニューノーマルに対応するため世界中の企業がテレワークを導入した昨今では、MFP・プリンタ業界の次の目標も見えてきた感がある。働く場所が、従来の集約型オフィスから自宅での在宅勤務、サテライトオフィスやコワーキングスペース、さらにはレンタルオフィスやシェアオフィスといった分散型オフィスへと一気に拡大しているが、これら様々なワークプレイスの各種ニーズに対応していくことが各社の基本戦略となる。

トナーボリュームという点では、従来オフィス向けがコロナ前のレベルに戻らないことはほぼ確実とみられている。しかし、ポストコロナで拡がりをみせる在宅勤務や分散型オフィスへの対応強化や、足下ではオフィス分野以上の低迷が続いているもののポストコロナ時代において需要拡大が期待できるプロダクションプリント分野を拡大していくことで、トータルトナーボリュームは今後数年も一定レベルを維持していく見通しである。

このような状況下で、トナーメーカーの生き残り競争は激しさを増していく。全体需要が減っていくなかで、厳格化される環境規制に対応しつつ、生産拠点の安定稼働を維持していくことはどのメーカーにとっても非常に困難な課題となりつつある。そして、トナー分野が各社の囲い込み技術の対象から外れつつある状況からすると、競合他社へのトナー外販という選択肢も現実味を帯びてくる。また、相当のトナー需要があるとみられる中古機市場への対応強化も重要となる。

弊社では、30年以上の長期にわたり「トナービジネス」の最新状況をお届けしてきた。今回のレポートでも、トナー (材料、環境、開発、生産、コスト、提携など)、レジン、キャリア、磁性粉、CCA、色材、外添剤、ワックスなど関連事業の将来性を改めて詳細に調査・検証していく。関係各位におかれましては、転換機を迎えたことが明らかとなっているトナー業界の最新動向を正確に把握していただくことで、この困難な時期を乗り越え、事業再発展の一助になることを望みます。

III. 調査対象品目

1. 調査対象品目

1) トナー

(1) 粉砕トナー (カラー、モノクロ) (2) ケミカルトナー (カラー、モノクロ)

2) トナー用レジン: (1) ポリエステル系レジン (2) スチレン-アクリル系レジン (3) その他

3) キャリア 4) 磁性粉 5) 荷電制御剤 (CCA) 6) カラートナー用色材

7) 外添剤 8) カーボンブラック 9) トナー用WAX 10) その他関連品目

2. 調査対象先

1) 主要メーカー・販社: トナーメーカー [国内外74社] / トナー用レジンメーカー [19社] / キャリアメーカー [4社] / 磁性粉メーカー [4社] (内2社撤退) / CCAメーカー [7社] / 色材メーカー [9社] / 外添剤メーカー [14社] / カーボンブラックメーカー [3社] / WAXメーカー [7社]

2) その他関連メーカー

IV. 調査範囲及び調査方法

1. 調査範囲: 調査対象範囲は2019年～2025年とする。

2. 調査方法: (1) 取材対象メーカー及び関連メーカーへの直接訪問面接調査。

(2) 公開されている文献、資料、統計等の分析及び調査。

(3) 弊社に蓄積されているデータの活用。

V. 調査形態、調査期間、他

1. 調査形態: 本調査はマルチクライアント方式による調査である。

2. 調査期間: 2021年5月～6月中旬

3. 調査報告書 (A4判簡易製本): **2021年6月25日**

4. **1社あたりの参加費用: ¥660,000-** (消費税込) : **英文版\$6,000-**

5. 調査担当 山本 幸男、吉田 晃介、針生 正史

e-mail: yamamoto@datasupply.jp, yoshida@datasupply.jp, hariu@datasupply.jp

TEL: 03-3831-9201, FAX: 03-3831-9204, ホームページ: <http://www.datasupply.jp/>

サンプルページ

「分析編」からの抜粋

(実際のレポートには、実数・コメントがあります)

1.5 機器別メーカー別全体生産動向 (2019年～2025年)

(1) PP用トナー

① (PP用)モノクロトナー+カラートナー

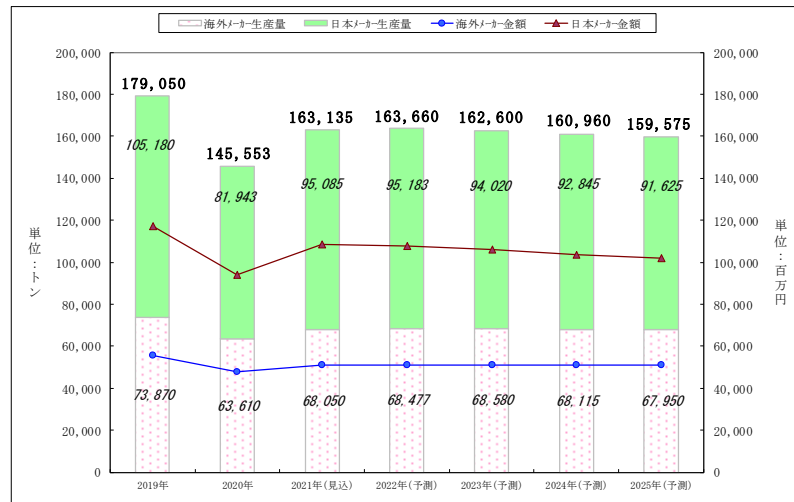
	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
北米	Kodak													
	Xerox													
欧州	Xeikon													
	対前年比													
海外メーカー合計														
	対前年比													
日本メーカー合計														
	対前年比													
合計														
対前年比														

2020年におけるPP用トナーの生産量は対前年比79.5%
 PP用トナーの生産量シェアでは、日本メーカーが全体
 ミノルタ (全体の29.2%)、以下、リコー (同17.9%)

A. 分析編

1. 全世界でのトナー生産動向

1) 日本/海外メーカー別全体生産量推移 (2019年～2025年)



	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
海外メーカー生産量														
対前年比														
日本メーカー生産量														
対前年比														
合計														
対前年比														

	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
海外メーカー金額														
対前年比														
日本メーカー金額														
対前年比														
合計														
対前年比														

2020年における全世界のトナー市場は、生産量ベースで対前年比81.3%の145,553トン、生産金額ベースで同82.2%の1,420億1千万円。同年は新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により、1～3月は中国メーカーの多くが稼働停止に追い込まれ、4月以降は欧米の主要都市がロックダウン(都市封鎖)の措置を取ったことで、日本メーカーや米国メーカーも軒並み生産調整が実施される事態となった。10月以降は市場全体が回復に向かったが、年トータルではこれまでにない大幅な減少となった。

2021年前半のトナー生産量は全般的に回復基調で推移している。ただ、欧米オフィスのプリントボリュームが未だ本格回復の途上にあることを考慮すると、年トータルの生産量は2019年レベルに達し及ばない(2019年比91.1%)との見通しである。そして、コロナ終息が期待される2022年以降も先進国企業の多くはオフィスワークとテレワークというハイブリッドな働き方を一定程度維持するとみられており、プロフェッショナルプリント市場で多少の上積みがあったとしても、トナー需要はこのまま現状維持から微減していく可能性が高くなった。

このように市場が縮小に向かう中、トナーメーカー各社が厳格化される環境規制に対応しつつ、生産拠点の安定稼働を維持していくことは極めて困難な課題となりつつある。今後は競合他社へのトナー外販という選択肢が現実味を帯びてくるほか、相当のトナー需要があるとみられる中古機市場での対応強化など、前例や慣習にとらわれない戦略立案がトナー市場での生き残りの鍵となる。

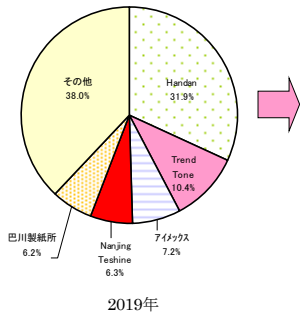
サンプルページ

「分析編」からの抜粋

(3) サードパーティ
(3)-1. 全体

単位:トン

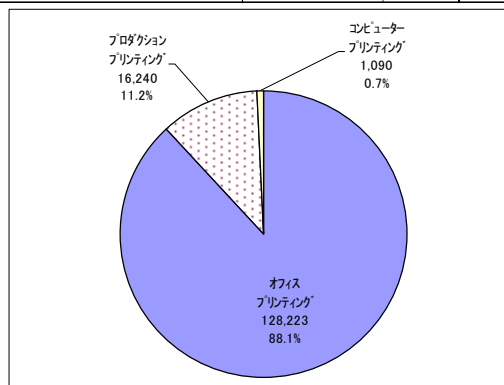
	2019年		2020年		2021年 (見込)	
		%		%		%
Handan Hanguang OA Toner						
Trend Tone Imaging						
Nanjing Teshine Imaging						
アイメックス						
Tianjin Synthetic Material Research Institute						
巴川製紙所						
Hubei Dinglong						
Indian Toners & Developers						
Jadi Imaging Technologies						
Wuhan Pointrole						
その他						
国内・海外の総合計						



2020年のサードパーティ市場は、Handan H...
Nanjing Teshine Imaging (7.1%)と中国・台湾の
トップ10に食い込んでいるが、低価格化の進む

3) オフィス向け/プロ向けのトナー生産量内訳 (2020年)

	用途	生産量 (トン)		生産金額 (百万円)	
			%		%
日本	オフィスプリンティング				
	プロダクションプリンティング				
	コンピュータープリンティング				
	小計 合計				
海外	オフィスプリンティング				
	プロダクションプリンティング				
	コンピュータープリンティング				
	小計 合計				
合計	オフィスプリンティング				
	プロダクションプリンティング				
	コンピュータープリンティング				
	小計 合計				



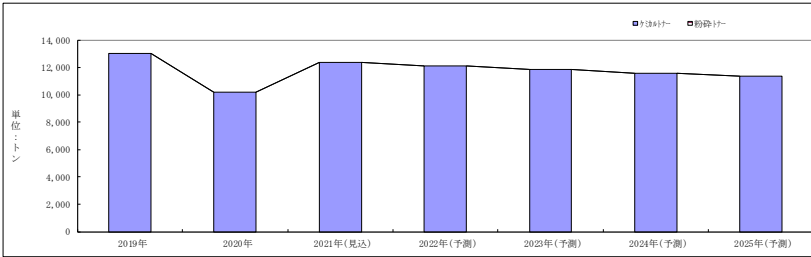
2020年のトナー市場においては、オフィス向けが生産量全体の88.1%、プロダクションプリンティング向けが同11.2%、コン
ピュータープリンティング向けが同0.7%を占めた。

オフィス向けの中では、いわゆる一般オフィスが圧倒的多数(オフィス全体の80%程度と推定される)を占め、小売店、流通、
工場、病院、学校等などが残りを占めるとみられる。コロナ禍では一般オフィス向けの需要は急減したが、流通や病院などのプリ
ントボリュームはほとんど落ちなかったとの報告も聞かされている。また、日本ではコンビニエンスストアでのプリントボリュームも増
加したとの事例も聞かされた。

サンプルページ

「トナー市場編」からの抜粋

2) 製造方法別種類別生産量



製造方法	種類	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
粉砕機	2成分	モノクロ													
		カラー													
		計													
	非磁性1成分	モノクロ													
		カラー													
		計													
	磁性1成分	モノクロ													
		カラー													
		計													
	合計														

製造方法	種類	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
アトマ化機	2成分	モノクロ													
		カラー													
		計													
	非磁性1成分	モノクロ													
		カラー													
		計													
	磁性1成分	モノクロ													
		カラー													
		計													
	合計														
			対前年比(%)												

同社のトナーは全量がスチレン-アクリル系のトナーではポリエステル系樹脂も配合され75%を占める予定。

B. トナー市場編 1. 海外メーカーの生産動向 1) 用途別成分別生産量推移 (2018年~2024年)

用途・成分	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
PP	2成分	モノクロ												
		カラー												
		計												
	非磁性1成分	モノクロ												
		カラー												
		計												
	磁性1成分	モノクロ												
		カラー												
		計												
	合計													
			対前年比(%)											
	PPC	2成分	モノクロ											
カラー														
計														
非磁性1成分		モノクロ												
		カラー												
		計												
磁性1成分		モノクロ												
		カラー												
		計												
合計														
		対前年比(%)												
アトマ化機		2成分	モノクロ											
	カラー													
	計													
	非磁性1成分	モノクロ												
		カラー												
		計												
	磁性1成分	モノクロ												
		カラー												
		計												
	合計													
			対前年比(%)											
	PP	2成分	モノクロ											
カラー														
計														
非磁性1成分		モノクロ												
		カラー												
		計												
磁性1成分		モノクロ												
		カラー												
		計												
合計														
		対前年比(%)												

2020年における海外メーカーのトナー生産量は対前年比86.1%の63,610トンと予想以上に減少した。中国メーカーだけに限ると、わずかに92%に過ぎなかった。また、2025年には既に2019年の実績を超える予想である。
2020年の新型コロナウイルスの影響は、日本メーカーが、対前年比77.9%だった事を考えると、海外メーカー全体の減少率は38%程低かった。さらに2025年になっても中国メーカーが中心に全体量を回復するが、2019年レベルには戻らない。

サンプルページ

「レジン市場編」と「CCA 市場編」と「色材市場編」と「外添剤市場編」からの抜粋

外添剤市場編

8) メーカー別種類別生産動向推移 (2019年～2025年)
(1) 生産量

	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
エポキシ	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
キヤボット	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
住友化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
トクヤマ	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
フッ素	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
シロカ	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
エポキシ	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
キヤボット	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
タケノ工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
アイカ	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
住友化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
タケノ工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
アイカ	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
トクヤマ	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
フッ素	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
合計	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	

色材市場編

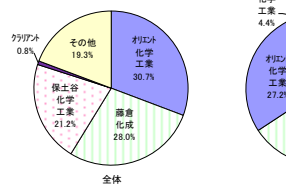
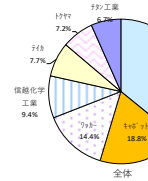
6) メーカー別種類別生産動向推移 (2019年～2025年)
(1) 生産量

	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
大日精化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
クラリアント	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
山崎化学	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
トーヨーカラー	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
DIC	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
メニエー	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
大日精化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	

CCA 市場編

6) 正・負帯電別メーカー別生産動向推移 (2019年～2025年)
(1) 生産量

	2019年		2020年		2021年(見込)		2022年(予測)		2023年(予測)		2024年(予測)		2025年(予測)	
		%		%		%		%		%		%		%
村田化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
保土谷化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
アリアール	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
藤倉化成	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
その他	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
正帯電	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
村田化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
保土谷化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
アリアール	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
藤倉化成	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
その他	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
負帯電	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
村田化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
保土谷化学工業	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
アリアール	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
藤倉化成	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
その他	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	
合計	対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	



レジン市場編

3. トナーメーカーへのレジン納入量一覧 (2020年)
1) 全体

トナーメーカー	レジンメーカー													納入量 (合計)		
	工業	三洋化成	藤倉化成	三井化学	カネミトキ	三菱	フジタ	DIC	DIC	東光	住友	その他	不明			
トナーメーカー																
トナー																
住友化学工業																
保土谷化学工業																
アリアール																
藤倉化成																
その他																
合計																
国内向け供給量合計																
海外向け供給量合計																
生産拠点合計																
納入業者別																

その他は、日本カーリット、中央合成化学、Hub

[目次]

A. 分析編

1. 全世界でのトナー生産動向	1
1) 日本/海外メーカー別全体生産量推移 (2019年~2025年)	1
2) 用途別成分別生産量全体推移 (2019年~2025年)	2
3) オフィス向け/プロ向けのトナー生産量内訳 (2020年)	4
4) 欧州における酸化チタン規制について	5
(1) 規制の経緯 (2) 「区分2」の規制内容 (3) 主要各社の対応	
5) 付加価値トナーの用途と生産量	9
6) 液体トナーの開発動向	9
7) 製造方法別種類別生産量推移 (2019年~2025年)	10
8) OEMとサードパーティ向けのトナー生産量 (2019年~2021年)	11
(1) 全体 (2) 用途別OEM/サードパーティ別生産量(2019年~2021年)	
9) メーカーシェアの推移 (2019年~2021年)	13
(1) 全体 (2) OEM (3) サードパーティ: (3) - 1. 全体 (3) - 2. モノクロ機用トナー/カラー機用トナー別サードパーティシェア	
10) ケミカルトナーのメーカー別参入状況	17
(1) 全体 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分 (4) 磁性1成分 (5) 成分別、色別メーカー別状況	
11) 成分別生産量推移 (2019年~2025年)	21
12) 生産地域別全体生産量推移 (2019年~2025年)	22
13) 成分別メーカー別全体生産動向 (2019年~2025年)	24
(1) 全体 (2) 磁性1成分 (3) 2成分 (4) 非磁性1成分	
14) 色別メーカー別全体生産動向 (2019年~2025年)	33
(1) モノクロトナー (カラー機用モノクロトナーを含む) (2) カラートナー	
15) 機器別メーカー別全体生産動向 (2019年~2025年)	35
(モノクロ・カラー) (1) PP用トナー (2) PPC用トナー (3) プリンタ/FAX用トナー	
2. 北米地域における生産動向	43
1) メーカー別生産量推移 (2019年~2025年)	43
2) メーカー別成分別生産量推移 (2019年~2025年)	44
(1) 磁性1成分 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分	
3. 欧州地域における生産動向	51
1) メーカー別生産量推移 (2019年~2025年)	51
2) メーカー別成分別生産量推移 (2019年~2025年)	52
(1) 磁性1成分 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分	
4. アジア・日本地域における生産動向	55
1) メーカー別生産量推移 (2019年~2025年)	55
2) メーカー別成分別生産量推移 (2019年~2025年)	56
(1) 磁性1成分 (2) 2成分 (3) 非磁性1成分	
5. ハードメーカー (自社エンジン) とトナーメーカーの供給関係一覧 (直近)	63
1) モノクロPPC 2) モノクロプリンタ 3) カラーPPC 4) カラーレーザー/LEDプリンタ	
5) PP 6) ケミカルトナーの使用用途	
6. 関連材料市場動向分析 (2019年~2025年)	69
1) レジン市場 2) キャリア市場 3) 磁性粉市場 4) 荷電制御剤 (CCA) 市場	
5) カラートナー用色材市場 6) 外添剤市場 7) カーボンブラック市場 8) ワックス市場	

B. トナー市場編

1. 海外メーカーの生産動向	79
1) 用途別成分別生産量推移 (2019年~2025年)	79
2) メーカー別生産量全体推移 (2019年~2025年)	82
3) モノクロ/カラートナーのメーカー別成分別生産量推移 (2019年~2025年)	84
(1) モノクロトナー (①全体②成分別 a 磁性1成分 b2成分 c 非磁性1成分)	84
(2) フルカラートナー (①全体②成分別 a 2成分 b 非磁性1成分)	89
2. 海外メーカーの生産拠点一覧	93
1) 北米地域における生産拠点	93
2) 欧州地域における生産拠点	94
3) アジア地域における生産拠点	95
3. 海外メーカーの個別生産動向 (2019年~2025年)	97

<各メーカーに共通>

用途別成分別生産量推移/製造方法別種類別生産量/オフィス向け・プロ向けの生産量内訳/OEMとサードパーティ向け内訳/会社の特徴

- [1] Cosmo AM & T (韓国) / [2] Handan Hanguang OA Toner / 邯鄲漢光辦公自動化耗材有限公司(中国) / [3] Hubei Dinglong / 湖北鼎龍控股股份有限公司(中国) / [4] Indian Toners & Developers Ltd (インド) / [5] Jadi Imaging Technologies Sdn Bhd (マレーシア) / [6] Kodak (米国) / [7] Lexmark International (米国) / [8] Lotte Fine Chemical (韓国) / [9] Nanjing Teshine Imaging Technologies / 南京新天興影像科技有限公司(中国) / [10] Tianjin Synthetic Material Research Institute / 天津市合成材料工業研究所有限公司 (中国) / [11] Trend Tone Imaging / 全通科技股份有限公司(台湾) / [12] Wuhan Pointrole Information Technology / 武漢宝特龍信息科技有限公司(中国) / [13] Xeikon (ベルギー) / [14] Xerox Corporation (米国) / [15] その他メーカー: 1) Cangzhou ASC Toner Production / 滄州艾

斯克粉業制造有限公司(中国) / 2) Cangzhou HuiBao Toner Production / 滄州惠宝墨粉制造有限公司(中国) / 3) CET Group / 中恒集团(中国) / 4) Excellent Color Technology (HuBei) / 優彩科技(湖北)有限公司(中国) / 5) Fujian Meihong Technology / 福建美宏科技有限公司(中国) / 6) Ganzhou Ninevalley Technology / 贛州九谷光电技术有限公司(中国) / 7) Guangzhou Auking Digital Technology Enterprise / 廣州奧晶數碼科技有限公司(中国) / 8) Guangzhou Aumes Digital Technology / 廣州奧美司數碼科技有限公司(中国) / 9) Guangzhou Cetron Office Equipment / 廣州携創辦公用品有限公司(中国) / 10) Guangzhou Shuangyi Sci-technology / 廣州市双益數碼科技公司(中国) / 11) Guangzhou VIVID Print Material / 廣州麗格打印耗材有限公司(中国) / 12) Guizhou Brothers Union Technology / 貴州兄弟聯科技有限公司(中国) / 13) Hubei East Toner New Materials / 湖北東拓乐新材料科技有限公司(中国) / 14) Hubei Sincore Toner Digital Technology / 湖北鑫京北數碼科技有限公司(中国) / 15) Huinon Toner Industrial / 東莞惠能辦公耗材有限公司(中国) / 16) Hunt Imaging (米国) / 17) HYB TONER / 珠海好印宝打印耗材有限公司(中国) / 18) ICMi China / 珠海思美亞碳粉有限公司(中国) / 19) Integral (ドイツ) / 20) IPM (Imaging Products Manufacturing) (トルコ) / 21) Meishan JSY Technology Material / 眉山市佳順源打印机材料有限公司(中国) / 22) Naghsh Ayandegan Abyaneh (イラン) / 23) Pure Toners & Developers (インド) / 24) Raven Industries (米国) / 25) Real Color Corporation (中国) / 26) RosToner (ロシア) / 27) Royal Precision Technology / 精御科技股份有限公司(台湾) / 28) Sindoh (韓国) / 29) Tianjin Zhonghuan TCOA Electronics / 天津市中環天佳電子有限公司(中国) / 30) Troy Group Inc. (米国) / 31) Union Chemical (韓国) / 32) Wuhan Zongxiang Imaging / 武漢宗祥顯影材料有限公司(中国) / 33) Wuxi Jiateng Magnetic Powder / 無錫佳騰磁性粉有限公司(中国) / 34) Wuxi Meiling Digital Science and Technology / 無錫美靈數碼科技有限公司(中国) / 35) Yvian Technology (Zhuhai) / 珠海益泛數碼科技有限公司(中国) / 36) Zhongshan Rainmiu Office Technology / 中山雨森辦公科技有限公司(中国) / 37) Zhuhai Guocai Technology / 珠海市國彩科技股份有限公司(中国)

4.	日本メーカーの生産動向	1 4 0
1)	用途別成分別生産量推移(2019年~2025年)	1 4 0
(1)	全世界での生産量 (2) 国内生産分 (3) 海外生産分	
2)	製造方法別種類別生産量(2019年~2025年)	1 4 5
3)	トナー全体の生産量と生産金額(2020年)	1 4 6
4)	メーカー別生産量全体推移(2019年~2025年)	1 4 7
5)	モノクロ/フルカラートナーのメーカー別生産量推移(2019年~2025年)	1 4 9
(1)	モノクロトナー (2) フルカラートナー	
6)	トナー製法別のメーカー別生産量推移(2019年~2025年)	1 5 3
(1)	粉砕トナー全体: ①粉砕モノクロトナー ②粉砕フルカラートナー	
(2)	ケミカルトナー全体: ①ケミカルモノクロトナー ②ケミカフルカラートナー	
7)	トナー成分別のメーカー別生産量推移(2019年~2025年)	1 6 1
(1)	磁性1成分(モノクロトナー) (2) 2成分(モノクロトナー+カラートナー) (3) 2成分(モノクロトナー) (4) 2成分(カラートナー) (5) 非磁性1成分(モノクロトナー+カラートナー) (6) 非磁性1成分(モノクロトナー) (7) 非磁性1成分(カラートナー)	
8)	メーカー別レジンの種類別トナー生産量動向(2020年)	1 7 1
(1)	全体 (2) モノクロトナー (3) フルカラートナー	
9)	メーカー別粒径別生産量動向(2020年)	1 7 5
(1)	モノクロトナー (2) フルカラートナー	
10)	ハードメーカーへのトナー納入量一覧及びハードメーカーの内製率(2020年)	1 7 9
5.	国内メーカーの国内外生産拠点概要(直近)	1 8 0
1)	生産拠点一覧 2) 国内の生産拠点一覧 3) 北米地域での生産拠点一覧	
4)	欧州地域での生産拠点一覧 5) その他地域での生産拠点一覧	
6.	日本メーカーの個別生産動向	1 8 3

<各メーカーに共通>

用途別・成分別生産量推移(国内生産分/海外生産分) / 工場別生産内訳 / 地域別海外生産の内訳 / 製造方法別種類別生産量 / トナーの生産量と生産金額 / トナーの技術開発動向(ケミカルトナー / 粉砕トナー / 新興国向けと先進国向けの開発 / 低温定着、環境対応、省電力等) / 付加価値トナー / 成分別・種類別生産量と種類別レジンの購入量 / 色別粒径別生産量 / オフィス向け・プロ向けの生産量内訳 / 供給先別生産量推移(2019~2021年 / OEM とサードパーティ向け内訳) / 生産・開発拠点動向 / 設備投資及び研究開発費の動向 / 会社概要

[1] キヤノン / [2] リコー / [3] 富士フイルムビジネスイノベーション(旧富士ゼロックス) / [4] コニカミノルタ / [5] 京セラドキュメントソリューションズ / [6] シャープ / [7] 東芝テック / [8] 巴川製紙所 / [9] 三菱ケミカル / [10] 花王 / [11] FDK / [12] サカタインクス / [13] アイメックス / [14] 日本ゼオン / [15] 三笠産業 / [16] その他: [16] - 1 OKI / [16] - 2 ダイソーケミックス / [16] - 3 荒木製作所(※受託加工メーカー) / [16] - 4 越谷化成工業(※同左) / [16] - 5 新光化学工業所(※同左)

C. レジン市場編

1.	全世界でのレジン生産動向	3 6 1
1)	日本/海外メーカー別生産量推移(2019年~2025年)	3 6 1
2.	日本メーカーの生産動向(2019年~2025年)	3 6 2
1)	地域別種類別生産量推移 2) 地域別種類別生産金額推移 3) メーカー別生産動向: (1) 全体 (2) スチレン-アクリル系 (3) ポリエステル系 (4) その他(ポリエーテルポリオール)	
4)	種類別地域別生産動向(2019年~2025年): (1) スチレン-アクリル系 (2) ポリエステル系 (3) その他(ポリエーテルポリオール)	

3. トナーメーカーへのレジンを納入量一覧 (2020年)	371
1) 全体 2) スチレン-アクリル系 3) ポリエステル系 4) その他	
4. レジンメーカーの生産拠点概要	375
1) 国内生産拠点一覧 2) 海外生産拠点概要	
5. 日本メーカーの個別生産動向 (2019年~2025年)	378

<各メーカーに共通>

地域別種類別生産量推移/地域別種類別生産金額推移/トナーメーカーへのレジンの種類別納入量/OEM量とサードパーティ量/ケミカルトナーへの対応/生産拠点(国内・海外)/設備投資及び研究開発費の動向/会社概要

[1] 三洋化成工業/[2] 藤倉化成/[3] 三井化学/[4] 三菱ケミカル/[5] DIC/[6] 花王/[7] 星光PMC/[8] その他メーカー: 1) 日本カーバイド工業(日本)/2) Tianjin Synthetic Material Research Institute/ 天津市合成材料工業研究所有限公司(中国)/3) Zhangjiagang Weidisen Chemical/ 張家港威迪森化学有限公司(中国)/4) Hubei Far East Zhuoyue Technology/ 湖北遠東卓越科技股份有限公司(中国)/5) Wuhan Hanhu Polymer Material/ 武漢市漢虎高分子材料有限責任公司(中国)/6) Wuxi Jiateng Magnetic Powder/ 無錫佳騰磁性粉有限公司(中国)/7) Wuxi Meiling Digital Science and Technology/ 無錫美靈數碼科技有限公司(中国)/8) Handan City New Toner Resin Limited Company/ 邯鄲市頂新碳粉樹脂有限公司(中国)/9) Cangzhou Tiantongyuan/ 滄州天通圓合成材料有限公司(中国)/10) SK Chemicals(韓国)/11) Samyang Corporation(韓国)/12) Shiva Performance Materials(インド)

D. 関連材料市場編

1. キャリア市場	409
1) メーカー別生産量(2019年~2025年) 2) メーカー別生産金額(2019年~2025年)	
3) 種類別メーカー別生産量推移(2019年~2025年): (1) 鉄粉キャリア (2) フェライトキャリア	
(3) マグネタイトキャリア (4) 樹脂キャリア	
4) 用途別種類別生産量推移(2019年~2025年) 5) 用途別種類別生産金額推移(2019年~2025年)	
6) 種類別粒径別生産量推移(2019年~2025年) 7) コーティング材料別生産量推移(2019年~2025年)	
8) 市場及び技術動向 9) キャリアメーカーの主要納入状況 10) メーカー別生産拠点一覧	
11) 個別メーカー動向: [1]パウダーテック/[2]関東電化工業/[3]DOWAエレクトロニクス/[4]戸田工業	
2. 磁性粉市場	441
1) メーカー別生産量推移(2019年~2025年) 2) メーカー別納入金額推移(2019年~2025年)	
3) メーカー別主要納入先(2020年) 4) メーカー別生産拠点一覧	
5) 個別メーカー動向(2019年~2025年): [1]戸田工業/[2]三井金属鉱業/[3]チタン工業/[4]関東電化工業	
3. 荷電制御剤(CCA)市場	448
1) 種類別生産動向推移(2019年~2025年) 2) 最新技術動向: (1) カラー対応 (2) 環境対応動向	
3) 価格動向 4) 荷電制御剤メーカーの主要納入状況(2020年) 5) メーカー別生産拠点一覧	
6) 正・負帯電別メーカー別生産動向推移(2019年~2025年): (1) 生産量 (2) 生産金額	
7) 個別メーカー動向(2019年~2025年): [1]オリエン化学工業/[2]保土谷化学工業/[3]クラリアント/[4]藤倉化成/[5]その他: [5]-1 日本カーリット/[5]-2 中央合成化学/[5]-3 Hubei Dinglong/ 湖北鼎龍控股股份有限公司	
4. フルカラートナー用色材(Y.M.C.)市場	468
1) 色別生産量推移(2019年~2025年) 2) 色別生産金額推移(2019年~2025年) 3) 市場動向	
4) 主要製品と価格 5) 添加量 6) メーカー別種類別生産動向推移(2019年~2025年): (1) 生産量	
(2) 生産金額 (3) 色材メーカーの供給関係 7) 個別メーカー動向(2019年~2025年): [1]大日精化工業/[2]クラリアント/[3]山陽色素/[4]トーヨーカラー/[5]DIC/[6]その他: [6]-1 BASF/[6]-2 富士色素/[6]-3 東京色材工業/[6]-4 大同化成工業	
5. 外添剤市場	497
1) 外添剤の種類別生産量推移(2019年~2025年) 2) 外添剤の種類別生産金額推移(2019年~2025年)	
3) トナーの種類別外添剤の動向 4) メーカー別特性 5) 主要製品と価格 6) 最近の使用状況	
7) 外添剤の新規参入メーカー動向 8) メーカー別種類別生産動向推移(2019年~2025年): (1) 生産量	
(2) 生産金額 9) 外添剤の供給関係 10) 個別メーカー動向(2019年~2025年): [1]エボニック/[2]キャボット/[3]信越化学工業/[4]チタン工業/[5]テイカ/[6]トクヤマ/[7]ワッカー/[8]その他: [8]-1 扶桑化学工業/[8]-2 堺化学工業/[8]-3 綜研化学/[8]-4 日本触媒/[8]-5 藤倉化成/[8]-6 日油/[8]-7 SukgyungAT(韓国)	
6. カーボンブラック市場	532
1) カーボンブラックの生産量/生産金額の推移(2019年~2025年) 2) カーボンブラックの主要メーカー(2020年) 3) 基本的性質と要求特性 4) 主要製品と環境対応 5) 添加量 6) 設備投資及び研究開発費の動向 7) 会社概要	534
7. ワックス市場	535
1) ワックスの生産量/生産金額の推移(2019年~2025年) 2) ワックスの種類別生産量割合(2020年)	
3) ワックスの種類と参入メーカー 4) ワックスの価格動向 5) 設備投資及び研究開発費の動向 6) 会社概要	

E. 電子写真製品機種一覧

1. PPC(MFP)のトナー成分別主要機種一覧(2017年~)	543
2. レーザー/LEDプリンタのトナー成分別主要機種一覧(2017年~)	554
3. プロダクションプリンタのトナー成分別主要機種一覧(2017年~)	567
4. レーザー/LED FAXのトナー成分別主要機種一覧(2017年~)	572

* トナーマーケット総覧 既刊案内 *

1. 1986年8月
「トナー及び関連機器市場の総合分析と技術動向」(日)
2. 1989年1月
「拡大するトナー及び応用機器市場の将来性分析」(日/英)
3. 1991年4月
「トナーと関連材料及び応用機器市場の総合分析」(日)
4. 1992年9月
「ファイン化が進むトナーの用途別将来展望」(日)
5. 1993年8月
「世界初の重合トナー上市で活性化するトナー業界の展望」(日/英)
6. 1994年10月
「多様化するトナーの成分別市場と将来性分析」(日/英)
7. 1995年11月
「高画質化する電子写真のトナー市場と需要動向分析」(日/英)
8. 1996年11月
「重合フルカラートナーで揺れるトナー及び関連業界の最新動向」(日/英)
9. 1997年9月
「電子写真の高画質化・カラー化を担うトナー及び関連業界の将来展望」(日/英)
10. 1998年12月
「重合フルカラートナーが牽引する電子写真の高画質化とトナー業界の将来動向」(日/英)
11. 1999年12月
「分岐点にさしかかったトナー業界の現状と将来動向」(日/英)
12. 2001年1月
「重合トナーで変容するトナー業界の将来展望」(日/英)
13. 2002年4月
「重合トナーが加速するトナー市場の構造変化」(日/英)
14. 2003年5月
「重合トナーの増産が続くトナー業界の変化と将来動向」(日/英)
15. 2004年5月
「ケミカルトナーがもたらすトナー業界の最新動向」(日/英)
16. 2005年8月
「ケミカルトナーの活発化で変化するトナー及び関連材料市場の将来動向」(日/英)
17. 2006年8月
「大手メーカーの撤退で揺れ動くトナー及び関連業界の将来性」(日/英)
18. 2007年8月
「高速及びPOD分野を切り開くトナーと関連材料市場の将来展望」(日/英)
19. 2008年8月
「新ケミカルトナーの登場で変容するトナー関連市場の構造分析」(日/英)
20. 2009年8月
「大手ケミカルトナーメーカーの登場で揺れるトナー関連市場の分析」(日/英)
21. 2010年8月
「専門メーカーの撤退が続くトナー関連市場の総合分析」(日/英)
22. 2011年8月
「震災被害を乗り越えたトナー業界の長期展望」(日/英)
23. 2012年8月
「低成長市場にいどむトナー業界の戦略」(日/英)
24. 2013年8月
「新興国市場拡大に期待するトナー業界のゆくえ」(日/英)
25. 2014年8月
「超小粒径トナーが切り拓くトナー業界の展望」(日/英)
26. 2015年8月
「付加価値トナーで市場に刺激を与えるトナー業界」(日/英)
27. 2016年8月
「高耐刷高画質を求め続けるトナー業界の展望」(日/英)
28. 2017年8月
「コスト競争力が市場を立て直すトナー業界の未来図」(日/英)
29. 2018年8月
「環境問題に直面し始めたトナー業界のゆくえ」(日/英)
30. 2019年8月
「事業の健全性が問われるトナー業界の将来性」(日/英)
31. 2020年7月
「事務機の中核を占めるトナー事業の将来性」(日/英)

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（刊行日・価格の変更があります）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03（3831）9201、FAX：03（3831）9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2021年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税込)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《 定期刊行物 》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥770,000 月会費：¥66,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年
《 2021年刊行予定物 》						
* 2021年版[感光体マーケット総覧] (286頁) 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥550,000	2/25	\$5,200	4/26	日 英	
新レポート *2021年版『出力機器関連機材ハンドブック』(282頁)	¥220,000	3/24	—	—		
* 2021年版[ローラー系部品マーケット総覧] (630頁) 『コストと品質が命綱となったローラー系部品業界の未来』	¥440,000	4/22	\$5,000	注文対応	日 英	
* 2021年版[トナーマーケット総覧] (572頁) 『働き方の多様化で変化が加速するトナー市場の最新動向』	¥660,000	6/25	\$6,000	8/24 予定	日 英	
* 2021年版[MIF マーケット総覧]	¥440,000	8/26 予定	\$4,000	注文対応	日 英	
* 2021年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥550,000	10/26 予定	\$5,000	12/15 予定	日 英	
* 2021年版[MFP マーケット総覧] (フルレポート) 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥660,000 各¥385,000	12/22 予定	— —	—		
《 2020年刊行物 》						
* 2020年版[感光体マーケット総覧] (292頁) 『新たな中国市場戦略が求められる感光体業界のゆくえ』	¥550,000	2/26	\$5,200	4/17	日 英	
* 2020年版緊急レポート (コロナショックと業界大規模再編) 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の地域別メーカー別分析』 (240頁)	¥330,000	4/24	\$3,000	6/19	日 英	
* 2020年版[ローラー系部品マーケット総覧] (651頁) 『要素技術で生き残る部品業界の行方』	¥440,000	5/26	\$4,000	11/25	日 英	
* 2020年版[トナーマーケット総覧] (582頁) 『事務機の中核を占めるトナー事業の将来性』	¥660,000	7/28	\$6,000	10/23	日 英	
(新レポート) * 2020年版[MIF マーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥440,000	9/28	\$4,000	12/23	日 英	
* 2020年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (366頁) 『ポストコロナ時代に市場拡大が期待される産業用インクジェット業界の最新動向』	¥550,000	11/26	\$5,000	2021. 2/26	日 英	
* 2020年版[MFP マーケット総覧] (フルレポート) (626頁) 『新日常社会へ挑戦する事務機業界の底力』 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥660,000 各¥385,000	12/23	— —	—		
《 その他の刊行物 》						
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥165,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥880,000	2013年 9/25	—	—		